

## 地理学教室便り (2020年度)

「お茶の水地理」60号をお届けいたします。最初に初めてご覧になる方に向けて本誌を紹介いたします。本誌は、お茶の水女子大学地理学教室の教員とOGの共同編集によりお茶の水地理学会が刊行しています。掲載する論文・記事の多くは、当教室の専任教員、大学院生、卒論生、OGによるもので、多数の女性執筆者が地理学の論文・記事を発表する雑誌です。今号には、論文5編、修士論文・卒業論文要旨などを掲載しています。また、毎号巻末には「地理学教室便り」を掲載しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大から研究・教育活動に多大な影響が生じた一年であったとともに、大学院教育においては博士前期課程ジェンダー社会科学専攻の改組にともない本年度の博士前期課程入学生から地理学専攻のコースが廃止されたという大きな変化がありました。以下に2020年度の「地理学教室便り」として当教室における研究・教育の概要を掲載します。

2020年度の専任教員は、学部地理学コースに水野、宮澤（主任）、長谷川の3名が、グローバル文化学環に倉光が在籍しました。大学院博士前期課程ジェンダー社会科学専攻地理環境学コースでは、専任教員として水野、宮澤、長谷川（コース代表）、倉光の4名が、そして兼任教員として開発・ジェンダー論コースの小林教授（国際関係論）、荒木准教授（開発研究、アフリカ地域研究）が、2年生以上の大学院生の教育・研究指導を担当しました。これら6名の教員は全員、大学院博士後期課程ではジェンダー学際研究専攻の教員です。アカデミック・アシスタントは、古野と福田が担当しました。お茶の水地理学会事務局は、東野が担当しました。

2020年度の非常勤講師は、以下の先生です。学部の教養科目（コア科目・リベラルアーツ科目）には、片岡久美、鈴木智恵子、伊藤修一（以上、情報処理演習）の各先生、地理学コースの専門科目では、宇根寛（自然地理学、地理環境学演習Ⅲ、地理学フィールドワークB）、小堀昇（地図学）、齋藤元子（地理学英書講読）、伊藤修一、植木岳雪、山口隆子、寺本潔（以上、地理学フィールドワークB）、教職課程では渡邊智紀、木村真冬、寺本誠（以上、中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史））、玉谷直子、中村光貴（以上、中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史））の各先生に担当していただきました。講師の先生方には、地理学教室のカリキュラムを充実したものにしてくださり、この場を借りてお礼申し上げます。

学部地理学コースの学生は、2年生が12名、3年生が5名、4年生が12名でした。4年生は10名が卒業し、それぞれの進路に巣立っていきました。また、本学の専門教育の特徴である複数プログラム選択履修制度で、地理環境学副プログラム（他分野のプログラムを主専攻としつつも、副専攻として地理学のプログラムを選ぶ）を選択した学生は、3年生が5名、4年生が7名でした。

大学院博士前期課程では地理学を専攻する教員を指導教員とする者が2名入学し、博士後期課程では同様に1名が入学しました。修了者は、博士前期課程が5名でした。そのうち1名が本学博士後期課程に合格し、進学しております。

最後に、2020年度に実施した巡検の一覧と、教室構成員が公表した主な研究成果一覧を掲載します。巡検は新型コロナウイルス感染症拡大の影響をもっとも受けました。現地での調査が変更になったりオンラインでの実施となったりした巡検が多数ありました。9月に実施した長期巡検の内容については、後日本学webサイトに掲載予定の報告書をご覧ください。専任教員の研究成果については、あわせて本学公式webサイトの「研究者情報」をご覧ください。

構成員一同、地理学の教育・研究に努力していく所存です。これからもご指導・ご鞭撻のほどをよろしく願います。末筆ですが皆様のご健康をお祈り申し上げます。

(2020年度学部地理学コース主任 宮澤 仁)

### 2020年度実施の巡検（実施地等の一覧）

- 5月 一日巡検の事前授業（水野）
- 9月 六本木・麻布（水野・オンライン）  
外郭放水路（植木）  
群馬県草津町（長谷川）
- 10月 新宿（山口）  
成城・田園調布（宮澤・オンデマンド）
- 11月 多摩ニュータウン（宮澤・個別訪問+オンデマンド解説）  
環境エコプロダクツ（長谷川・オンライン）
- 12月 幕張（伊藤・オンデマンド）
- 2月 蒲田・羽田（寺本）  
湘南西部（宇根）

**2020年度に公表した主な研究成果 (構成員名のローマ字・アルファベット表記順)**

執筆物

長谷川直子 2020. 「ご当地グルメの地理学」～ローカルフードの由来を自然環境と歴史から解き明かす～. 第61回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 大会冊子: 27-33.

長谷川直子・佐藤壮紀 2020. 地理を専門としない小学校教諭を主な対象とした教員免許更新講習の実践報告. 千葉科学大学 教職・学芸員センター通信 7: 60-70.

木村 由梨 2020. 地域アイデンティティの再興ー川口鑄物, 初午太鼓, サードプレイス. お茶の水地理 59: 21-30.

倉光ミナ子 2020. 「お茶っこ」に関する一考察ー岩手県陸前高田市の訪問から. お茶の水地理 59: 51-55.

宮澤 仁 2020. 再生に挑むニュータウン. 菊地俊夫・松山 洋編『東京地理入門』朝倉書店. 99-100.

Miyazawa, H. 2020. Revival of Tokyo's new towns. In *Geography of Tokyo*, eds. T. Kikuchi, H. Matsuyama, L. Sasaki and E. 99-100. Tokyo: Asakura Shoten.

Miyazawa, H. and Hatakeyama, T. eds. 2021. *Community-based integrated care and the inclusive society: Recent social security reform in Japan*. Singapore: Springer Nature Singapore Pte Ltd.

水野 勲 2020. プリンス・エドワード島の「可能世界」ー地誌としての『赤毛のアン』. お茶の水地理 59: 1-10.

齊藤美沙季・宮澤 仁 2020. 経済連携協定 (EPA) に基づく外国人看護師候補者の受入れにみられる大都市集中傾向ー東京大都市圏における動向とその背景. 季刊地理学 72: 143-161.

辻横真琴 2020. 地理的側面から見る市民マラソン大会ー全国データベースの分析およびランナー調査をもとに. お茶の水地理 59: 31-40.

随 尚華 2020. 商店街の観光地化によるアイデンティティの変化と商店街住民の対応ー鎌倉市小町通り商店街を事例として. お茶の水地理 59: 41-50.

口頭発表・講演・ポスターセッション

藤本まゆ 2020. 神奈川県内市町村における観光客への防災対策の現状と展望ー市町村地域防災計画と観光客への平時の情報提供に着目して. 2020年度 (第69回) 全国地理学専攻学生卒業論文発表大会 (オンライン).

長谷川直子 2020. コロナ禍での遠隔による企画・授業ー地理学関連の例. 地球惑星科学連合大会地球惑星科学

のアウトリーチ DFS セッション (オンライン).

長谷川直子 2020. コロナ禍における遠隔学習へのボランティアな取り組みー地理学関連での高校・大学における実践例. 日本地学教育学会第74回全国大会 (オンライン).

長谷川直子・三上岳彦・平野淳平 2020. 諏訪湖の結氷・御神渡り記録の出典ごとの精査. 日本地理学会秋季学術大会 (オンライン).

Hasegawa, N., Mikami, T., Hirano, J. and Batten B. 2020. Newly discovered long-term record of freezing/breaking-up dates of Lake Jusan in Northern Japan during 1705-1860 as compared with those of Lake Suwa. *AGU Fall Meeting 2020* (Online).

Hasegawa, N., Mikami, T., Hirano, J. and Batten B. 2021. Re-examination of original documents of freezing and Omiwatari dates for Lake Suwa. *PAGES-CRIAS 3rd workshop* (Online).

三上岳彦・長谷川直子・平野淳平・Batten, B. 2020. 弘前の冬春季・降雪率の長期変動と十三湖の結氷期間との関係. 日本地理学会秋季学術大会 (オンライン).

Mikami, T., Hasegawa, N., Hirano, J. and Batten, B. 2020. Long-term winter/spring climatic changes in Northern Japan reconstructed from snowfall rates and lake-freezing records. *AGU Fall Meeting 2020* (Online).

倉光ミナ子・福田珠己 2020. Covid-19 と「ホーム」ーフェミニスト地理学の視点から. 日本地理学会秋季学術大会 (オンライン).

三浦尚子. 2021. コロナ禍における牛久入管収容所被収容者の生活状況とメンタルヘルス. 日本地理学会春季学術大会 (オンライン).

野村佳乃子 2020. 東日本大震災による人生・地域社会の「継続性」の破壊と地域コミュニティの再構築ー岩手県田野畑村島越地区を事例として. 2020年度 (第69回) 全国地理学専攻学生卒業論文発表大会 (オンライン).

Thang, L. L., Yui, Y., Wakabayashi, Y. and Miyazawa, H. 2021. Aging neighborhoods in Japan: Neighborhood activism and the promoting of elderly-friendly community of support and care. *Workshop on Building City Knowledge from Neighbourhoods, Asia Research Institute at the National University of Singapore, and Southeast Asia Neighborhoods Network of International Institute for Asian Studies* (Online).

- Wakabayashi, Y. and Miyazawa, H. 2020. 2020 (Online).  
Visualization of the supply-demand gap in  
childcare services in Tokyo. *Japan Geoscience  
Union-American Geophysical Union Joint Meeting*
- 大竹あすか. 2021. 都市コモンズにおけるスケール分析  
の意義—渋谷区宮下公園に関する論争を事例として.  
日本地理学会春季学術大会（オンライン）.